

こんにちは ふるいち順子です

※私からのお願い※ このニュースをお読みいただくことが大きな支えになります。ぜひ、読んでいただける方をご紹介します。

発行 古市順子 真田町本原(竹室) 2543-3 ☎/FAX 72-3261 メール: huruitij@ued.janis.or.jp ホームページ http://www.ued.or.jp/~huruitij/

NO. 233 2025年 10月号



真田中央公民館前のサルビアが真田中学校同様、見事に咲きました。学校にお勤めだった先生が、熱心に手入れをされています。(9/25)



相談事は、お気軽に連絡下さい

10月となりました。過ごしやすい秋は短いでしょうか。上田市議会9月定例会は9月1日に始まり、10月1日に閉会しました。一般質問は9月8日から10日に行われ、私は6回目となる水道事業広域化について、裏面に記載のとおり行いました。(一部抜粋) 9月議会には、水道事業会計補正予算案で、「水道広域化に係わる施設整備検討、基礎調査費用、事業計画策定業務等の負担金」が計上されました。この議案の審査に際して市議会産業水道委員会では、初めてとなる参考人招致、意見聴取を二日間行いました。一日目の傍聴の方も多かったようです。2日目は私も傍聴しましたが、意見聴取の後行われた議案審査で、反対、賛成の討論が行われました。反対討論は、日本共産党の久保田議員が行いましたが、採決は賛成5名、反対1名でした。

10月1日の閉会日の反対討論は、私が下記のとおり行いました。日本共産党市議団では、様々な調査・研究、議会質問も6回行いましたので、長い討論となりました。採決は賛成18名、反対7名でした。

また、「再審法改正の早期実現を求める」国への意見書が、全会一致で可決されました。上田市教職員組合から提出され、私が紹介議員となった「カリキュラム・オーバーロードの改善を求める」請願は、継続審査となりました。(10/3)

9月議会、令和7年度水道事業会計補正予算について反対討論を行いました。(上田・長野間水道広域化事業)

◎日本共産党上田市議団では、行政視察、研修会、市民説明会、審議会傍聴、市民の皆さんとの意見交換等、調査研究を進めてきた中で、現時点ではメリットよりもデメリットが大きいと判断しました。その理由として……

①上下水道審議会の答申がまとまらなかった重み
上下水道局が広域化の有効性について、説明したにも関わらず、審議会の多くの委員が納得できなかった。

②水の自治が大きく後退すること
市民から遠い存在の「水道事業企業団とその議会」への運営権・資産管理権等の権限委譲となり、市民の意見が反映されにくくなる。2018年の水道法改定により、民間に運営権を渡すコンセッション方式導入の可能性はある。

③上田市にとって、広域化事業が本当に必要なのか、大変疑問であるということ
水道広域化が実施された他地域には、それぞれ差し迫った事情があった。上田市は合併により、真田・武石・丸子地域にある良質な水源を得た。今、求められているのは、この貴重な水源を守り、将来にわたって市民に安定的に供給していくことではないか。国は単独経営の継続でも、広域化のどちらに対しても支援策を講じている。料金と投資のバランスを考慮しながら、老朽化対策や耐震化を進めることは十分可能であり、上田市単独でも持続可能な水道事業の運営は成り立つと考える。

④災害時に不安があるということ

災害に強い水道は、広域ではなく「地域分散・連携型」という事が、能登半島地震でも証明されている。

⑤住民サービスの低下と、下水道分離による効率低下が課題だということ

このことは、広域協議会でも課題として認識されている。

⑥資金よりも負債が極端に多い事業体との統合はリスクが大きいということ

令和5年度末の上田市、長野市の企業債残高は、資金残高のほぼ2倍程度だが、県企業局は10倍である。

⑦統合のメリットがほとんど明らかでないということ

事業計画は令和8年度から16年度までであり、「上田市にとってメリットはあるのか？」という今議会での私の質問に「実施可能事業と補助金の減少が想定される。今後、より現実に即した計画を策定する必要がある。」と答弁

◎事業検討の進め方に問題がある。

この事業の進め方は、ずっと以前から基本計画の首長の合意ののちに、事業計画策定に進むと説明されてきた。しかし、今定例会に提案された補正予算案は、来年度の債務負担行為も含まれ、時間をかけて、事業計画策定を進めていくということである。当初の説明と違って、なし崩し的に進めることは、市政、市長への信頼を損なうことになるのではないかと。市民の理解や納得が不十分なまま、事業計画策定経費が計上されることを認めることはできない。

9月議会一般質問の内容 [9月10日、一部抜粋]

水道事業広域化について

問市長は以前から「しかるべき時に判断をする」と言うが、判断とは基本計画に合意するか否かと理解できる。見解はどうか。

答【市長】しかるべき時期の責任ある判断とは、この基本計画案の合意をもって広域化の判断をするのではない。今後、重要協議事項や事業計画について協議、調整を重ねて整理された内容を確認し、市民や議会からのご意見を十分に踏まえた上で、最終的に広域化の可否を判断するということです。

問今定例会には広域化関連の調査費用・事業計画策定の補正予算が計上されているが、市長は基本計画に合意するという判断をしたということか。

答【市長】広域化関連予算は、この重要協議事項や事業計画の検討を的確に進めるために必要な調査、検討に充てるもの。基本計画案の合意については、今の段階では判断していないが、今後庁内で検討し、判断を早期にしたい。

問6月議会で、「協議会からの脱退は同意を得て可能」と答弁されているが、基本計画に合意して協議が進む中において、本当に脱退は可能だと考えているのか。

答上田長野地域水道事業広域化協議会については、令和6年4月に設立され、その際に定められた協議会規約で「構成団体が協議会から脱退する場合は、協議会の同意を得た上で、脱退することができる」と明記されている。

問6月議会では「広域化の検討の進捗に応じて、市民説明会やシンポジウム等、市民の皆さんが意見を交わすような機会を設けていく」と答弁されているが、基本計画合意の議論に際して、今、シンポジウム等に取り組むべきではないか。

答広域化か、単独経営かといった判断材料を現在は提示できない状況で、今後、重要協議事項の具体的な整理が進み、一定の判断材料を示せる状況となったら、市民説明会などの開催を通じて、市民の皆様と意見交換をする機会を積極的に設けてまいりたい。

問広域化から8年が経過する「香川県広域水道事業団」の現状は、「住民から遠ざかる水道事業」が顕著という声がある。企業団議会、審議会の状況、諸課題の窓口等、課題が多い。先進事例はしっかり研究すべきと考えるが見解を伺う。

答香川県をはじめとする先進地での経験や課題は、大変参考になるものと捉えている。今後の検討におきましても、こうした事例をしっかりと研究して、住民にとってよりよい仕組みとなるように、今後作成を見込む事業計画案のほうに反映してまいりたい。

問補助金を活用して実施できる事業費の総額は1,000億円とされ、「上田市の事業計画はほぼ給水人口割となっている」と説明されている。しかし、この事業計画は令和8年度から令和16年度の実施を想定しており、補助金の期限は決まっている中で、事業開始時期、事業経費も不透明で、各自治体の負担は大きくなることが予想される。この状況で、上田市にとって本当にメリットがあると思うのか。

答事業等の開始時期が遅れると補助期間が短くなり、実施可能な事業が減少する。また、補助金も減少することが想定される。

このような状況も踏まえて、今後はより現実に即した事業計画の策定に取り組み、老朽化施設の更新や耐震化といった喫緊の課題に十分計画的に対応できる可能性や、また各団体の財政負担の在り方も含めて十分に検証し、上田市にとって広域化による効果が真にあるのかどうかを見極めてまいりたい。

前号からの活動報告

- 9/8～10 上田市議会9月定例会一般質問
- 9/11 上田市議会広報広聴委員会
- 9/14 長野県生活と健康を守る会学習会
- 9/15 藤野やすふみ元衆院議員街頭宣伝
- 9/17～18 上田市議会環境建設委員会
- 9/19 上田市議会産業水道委員会傍聴
- 9/20 生活と健康を守る会昼食交流会
- 9/22 上田駅前宣伝
- 9/26 真田中学校70周年記念式典 かりがね祭 生活相談で市役所へ
- 9/27 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟支部総会
- 9/28 真田の郷まちづくり会議 防災講演会
- 9/29 決算特別委員会 会派代表者会 防災支援協会と市議会3委員会との懇談会
- 9/30 公職選挙法と議員活動についての議員学習会
- 10/1 政策討論会 9月定例会閉会日

これからの予定 (10/3現在)

- 10/4 上田市環境フェア、日本共産党演説会【長和町】
- 10/5 上田市遺族会長支部戦没者追悼式
- 10/6 上田駅前宣伝 林業活性化議員連盟研修会
- 10/7 地域課題についての打ち合わせ(荒井自治会)
- 10/12 戦争の準備より暮らしの願い交流会

我が家の庭だより

9月は、私の誕生日で、誕生日には、子どもたちが夕食会をして、祝ってくれました。夫の没年齢を超えて、年を重ねられたことに感謝です。

10月2日は、さなだ保育園の運動会でした。孫が年少組となって、初めての運動会ということ、子どもたちに誘ってもらって出かけました。孫ががんばっている様子も見えて、楽しい時間でした。コロナ禍前は、民生児童委員の皆さんとご一緒に招待していただきましたが、他の孫も大きくなったこともあり、本当に久しぶりでした。可愛い子どもたちのかけっこやリズム、玉入れなど、職員の方のご苦労も思いながら、どれも大きな拍手です。

